

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料5別添1

協議会名： 陸前高田市地域公共交通会議

評価対象事業名 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
碁石観光(株)	広田線 広田線(平日) 広田半島線 広田半島線(平日)	広田線 【前回の評価結果】 ・時刻表の全戸配付をはじめとした周知に努める。 ・高校生の登校について利便性向上を図る。 【評価結果の反映状況】 令和5年4月1日ダイヤ改正で経路変更や停留所の新設・移設を行った。中高生の運賃を半額として通学に利用しやすい環境を整えた。ダイヤ改正に係る時刻表の全戸配付を行い周知に努めた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 広田線(全日系統と平日系統の合計) 【目標値】4.0人/回【実績値】3.9人/回【達成率】97.5% 広田線は6.1人/回と目標値を上回り補助対象となった。コロナ禍明けによる移動需要の回復が原因と思われる。 広田線(平日)は0.5人/回と補助対象外となった。最寄りの地域間幹線に乗り継ぐことを前提とした経路・ダイヤとしているが、乗り継ぎが嫌われたものと思われる。	ダイヤ改正に係る時刻表の全戸配付をはじめとした周知に努めるとともに、経路の見直しやフリー乗降区間の拡大などを進めて利便性向上を図る。
		広田半島線 【前回の評価結果】 ・時刻表の全戸配付をはじめとした周知に努める。 ・高校生の登校について利便性向上を図る。 【評価結果の反映状況】 令和5年4月1日ダイヤ改正で経路変更や停留所の移設・新設を行った。中高生の運賃を半額として通学に利用しやすい環境を整えた。ダイヤ改正に係る時刻表の全戸配付を行い周知に努めた。		C 広田半島線(全日系統と平日系統の合計) 【目標値】4.0人/回【実績値】1.6人/回【達成率】40% 広田半島線は4.4人/回と目標値を上回り補助対象となった。運賃の低廉化で高校生の利用が一定数増えたのが原因と思われる。 広田半島線(平日)は0.2人/回と補助対象外となった。最寄りの地域間幹線に乗り継ぐことを前提とした経路・ダイヤとしているが、乗り継ぎが嫌われたものと思われる。	ダイヤ改正に係る時刻表の全戸配付をはじめとした周知に努めるとともに、経路の見直しやフリー乗降区間の拡大などを進めて利便性向上を図る。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)気仙タクシー 高田タクシー(有)	長部今泉線 たかたコミュニティバス西部線 デマンド交通中平・坂下・小黒山エリア デマンド交通気仙エリア ※補助対象事業者が2週間交替で運行	長部今泉線 【前回の評価結果】 ・時刻表の全戸配付をはじめとした周知に努める。 ・災害公営住宅などでデマンド交通気仙エリアと一体となったPRを行う。 【評価結果の反映状況】 令和5年4月1日ダイヤ改正で経路変更を行い、たかたコミュニティバス西部線との役割分担を明確化した。ダイヤ改正に係る時刻表の全戸配付を行い周知に努めた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 長部今泉線 【目標値】2.0人／回【実績値】1.8人／回【達成率】90% 補助対象外となった。コロナ禍明けの移動需要の回復により実績値は前回より改善したが、沿線の利用人口の減少が大きいと思われる。	ダイヤ改正に係る時刻表の全戸配付をはじめとした周知に努めるとともに、デマンド交通気仙エリアと一体となったPRを実施する。
		たかたコミュニティバス西部線 【前回の評価結果】 経路の重なる路線との統廃合、複雑な経路の整理、便数の調整を行い、運行の効率性を高めることとする。 【評価結果の反映状況】 令和5年4月1日ダイヤ改正で経路変更を行い、長部今泉線との役割分担を明確にして路線の複雑さの解消に努めた。ダイヤ改正に係る時刻表の全戸配付を行い周知に努めた。		C たかたコミュニティバス西部線 【目標値】2.0人／便【実績値】0.6人／便【達成率】30% 補助対象外となった。コロナ禍明けの移動需要の回復や路線の周知により実績値は前回より改善したが、他の交通手段との重複が利用低迷の原因と思われる。	経路の重なる路線との統廃合や整理、便数の調整を検討する。併せて、路線延長の要望に対応することで利用者増につなげる。
		デマンド交通中平・坂下・小黒山エリア 【前回の評価結果】 本エリアに絞ってデマンド交通のPRを行い、登録者の掘り起こしと利用の拡大を図る。 【評価結果の反映状況】 令和5年4月1日ダイヤ改正で運行効率化のため帰り便の時刻を変更し、その内容について該当行政区への情報提供を行った。市地域公共交通計画策定に伴い行ったデマンド交通登録者アンケートにおいて、チラシを同封しPRに努めた。		C デマンド交通中平・坂下・小黒山エリア 【目標値】2.0人／便【実績値】1.1人／便【達成率】55% 運行割合30%未満となり補助対象外となった。沿線の人口が市内でもかなり少ないことに加えて、タクシー助成との機能重複が原因と思われる。	中平・坂下・小黒山エリアに絞ったデマンド交通のPRを実施し、利用の拡大を図る。タクシー助成とのすみ分けについては、市地域公共交通計画に基づく施策展開の中で検討する。
		デマンド交通気仙エリア 【前回の評価結果】 災害公営住宅などで長部今泉線と一体となったPRを行う。 【評価結果の反映状況】 市地域公共交通計画策定に伴い行ったデマンド交通登録者アンケート及び気仙町内での免許返納者等ヒアリングにおいて、チラシなどによるPRに努めた。		C デマンド交通気仙エリア 【目標値】2.0人／便【実績値】1.6人／便【達成率】80% 運行割合30%未満となり補助対象外となった。タクシー助成との機能重複が原因と思われる。	長部今泉線と一体となったPRを実施する。タクシー助成とのすみ分けについては、市地域公共交通計画に基づく施策展開の中で検討する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(有)高田交通	デマンド交通小友・広田エリア	<p>【前回の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本エリアに絞ってデマンド交通のPRを行う。 ・出前講座などを通じて登録者に対する利用の働きかけに努める。 <p>【評価結果の反映状況】</p> <p>市地域公共交通計画策定に伴い行ったデマンド交通登録者アンケート及び小友町内での免許返納者等ヒアリングにおいて、チラシなどによるPRに努めた。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C デマンド交通小友・広田エリア 【目標値】2.5人/便【実績値】1.9人/便【達成率】76% 運行割合46%で補助対象となった。路線バスに利用がシフトしたと考えられるほか、タクシー助成との機能重複も原因と思われる。	小友・広田エリアに絞ったデマンド交通のPRを実施するとともに、出前講座などを通じて登録者等に対する利用の働きかけに努める。タクシー助成とのすみ分けについては、市地域公共交通計画に基づく施策展開の中で検討する。
(有)奥州交通	生出線	<p>【前回の評価結果】</p> <p>令和5年度新規事業のため、前回事業評価なし。</p> <p>【評価結果の反映状況】</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 生出線 【目標値】4.5人/回【実績値】5.1人/回【達成率】113% 補助対象となった。	現在の運行を引き続き継続するとともに、ダイヤ改正に係る時刻表の全戸配付をはじめとした周知に努める。

※枠の大きさの変更は可能です。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	陸前高田市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>陸前高田市は、岩手県沿岸部の最南端に位置し、北は大船渡市及び住田町、南は宮城県気仙沼市、西は一関市に接しており、総面積は231.94平方キロメートルである。</p> <p>市内公共交通は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波により、岩手県交通(株)のバスターミナルやバス・タクシー事業者の車両の大半が流出するなど甚大な被害を受けた。その後、国の特定被災地域公共交通調査事業や復興交付金事業を活用しながら、路線バスや乗合タクシー、デマンド交通の運行を継続してきた。また、被災したJR大船渡線については、バス高速輸送システム(BRT)の導入による本復旧がなされたものである。</p> <p>現在の市内公共交通網は、JR大船渡線BRTと地域間幹線1路線、複数の広域路線を幹線交通とし、公共交通の乗り継ぎ拠点である陸前高田駅を中心に、路線バスと乗合タクシーを放射状に配置して幹線と接続する枝線と位置づけ、デマンド交通や自家用有償旅客運送(グリーンスローモビリティ)、共助輸送サービスなどを幹線・枝線を補う移動手段と位置づけて展開しており、現在策定中の市地域公共交通計画に掲げる「地域ニーズと復興に合わせて地域公共交通を再編する」「使いやすい公共交通機関を整備する」という目標を目指して、持続可能な生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>